

森下さち子ニュース



2012年【4月号】 和歌山市鳴神 1145 の6 TEL(474)6556
市議員団ホームページ <http://jcpwkym.sakura.ne.jp/> TEL(435)1113



今年の桜は寒かった冬の影響を受けて、開花がいつもより遅れましたが、このニュースがお手元に届く頃には、和歌山の桜は満開も過ぎ、桜前線はかなり北上しているでしょうか。

春は出会いと別れの時とよく言います。別れはマイナスのイメージですが、新たな出会いへの架け橋となることもあります。

新たな気持ちで春を楽しみつつ、新年度をスタートしましょう。



議会報告

2月定例会市議会が終わりました

2012年度の予算や条例を決める2月議会が2月24日から3月22日まで開かれました。前半は2011年度の最終補正予算について、後半は新年度予算について、いずれも賛成多数で可決されました。

日本共産党市議団は提案された議案のうち、市民生活にとって負担が増えると思われるもの、今緊急に必要な性が感じられないものなどの観点で新年度予算や条例17件に反対しました。

介護保険料引き上げ

新年度から始まる第5期計画の中に保険料の見直しも含まれており、その引き上げ率は平均で17.5%に及びます。年金や賃金など収入が増えないにもかかわらず、社会保障に関わる料金が次々と引き上げられており、国の制度そのものを見直すことと共に和歌山市が独自の制度を作り支えることも必要です。



保育料の引き上げに反対

子育て支援、少子化対策のカギを握るのは、保育所の充実であり、子育てしやすい環境をいかに整備するかということです。保育所の充実の中には保育料を低く抑えるということも含まれています。

しかし、保育料は共働きで保育所を利用すると大きな負担となり、子供を産むことをためらう一因となっています。保育料だけでなく、子どもの医療費や学童保育の利用料など経済的負担を減らさなければ、安心して子どもを産むことはできません。今回の保育料引き上げはそういう意味でも子育て世代にとって大きな負担となることから反対しました。



国に対する意見書を採択

「心の健康を守り推進する基本法（仮称）の制定を求める意見書」「障害者総合福祉法（仮称）の制定を

日本共産党 衆議院和歌山1区予定候補 くにしげ秀明です

国の2012年度予算が成立しました。基礎年金の国庫負担の財源を「交付国債」でまかなうという問題があります。この借金の返済は国民の多くが反対している消費税の増税を充てる予定ですが、そもそも社会保障の財源として消費税はふさわしくありません。消費税は庶民に重い負担になるからです。しかも消費税の増税は景気を悪くしますから法人税と所得税の収収は減り、税収全体は落ち込みます。

経験済みです。利益を増やし続ける大企業や大金持ちに、能力に応じた負担を求めるとともに景気を良くして法人税と所得税の収収を増やし社会保障の充実に努めるべきです。



ポスターが出来ました。和歌山市内での張りだしにご協力お願いいたします。

求める意見書」は共に障害者団体などから陳情が上がっていたもので、特に「障害者総合福祉法（仮称）」は「障害者自立支援法」を廃止し、障害を持つ方々の実態に基づいた理念を謳う必要があることから、意見書の採択となったものです。国は一日も早くこのような声にこたえるべきです。



日本共産党演説会

4月27日（金）午後7時より
市民会館小ホール
和歌山1区予定候補 **国重秀明**
衆議院議員 **こくたけいじ**
がお話します。



こんにちは！ 藤井健太郎です (ふじいけんたろう)

みなさん、こんにちは。桜や桃の花が目をごまかせてくれる季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

昨年暮れからこの3月末まで、私の母の入院つきそいと娘の里帰り出産、それに上の孫の世話が重なり、わが家はてんやわんやの大騒ぎ。飲み会や花見のお誘いにこたえる間もなしに、今日の日を迎えています。

母は介護施設に入所、娘は生まれた子と上の子連れで我が家に帰り、ホッと一息。久しぶりに机に向かうことができました。読まずに積んでいた赤旗や雑誌を開き、頭のきりかえをすべくがんばろうとしています。が、そこは春、なかなかページがすすみません。そんな時は、消費税署名と赤旗をもって地域訪問やポスター貼りなどで体を動かすことに。また、皆さんとお顔を会わすことと思いますが、その時はどうぞよろしく。衆議院選挙がんばります。

前県会議員 ふじい健太郎 2012/04/09

「東日本大震災に伴い発生した瓦礫の受け入れに関する決議」について

議会最終日の3月22日、全会一致でこの決議が採択されました。日本共産党市議団は国の無責任な瓦礫処理を地方自治体へ押し付けようとするのを許さず、市に対して安全基準を守らせるための歯止めをかけることができるかと判断し賛成しました。

この決議は市に対し①科学的な知見により放射能の影響を検証し放射線量の測定等十分な体制を整える②現在、和歌山市が処理している通常の廃棄物と判断されるものについては受け入れる、としています。

この決議をめぐって、市民の方から決議を出さないで欲しい、あるいは反対して欲しいなどの陳情を頂いていました。私たち市議団は、被災地に寄り添い瓦礫処理に協力することと、市民の健康・安全を守ることがどのように進めるべきかを繰り返し議論しました。

今後はこの決議を市が誠実に受け止め、放射線量の測定と決議に沿った判断が正しく行われる体制を求めていきたいと考えています。また、同時に国と東京電力に対しては国会議員団とも連携し放射性物質で汚染された廃棄物の基準、放射線防護対策の抜本的な見直しと強化を引き続き求めていきます。



しんぶん赤旗3月18日付

日刊紙掲載の日本共産党の見解

日本共産党は東日本大震災で発生した瓦礫処理に対し見解を発表しています。和歌山市議会の決議に関わる市議団の見解と共に参考にしていただければと思います。

見解の要旨

- ① 災害瓦礫の処理は震災復興の大きな障害になっている
- ② 瓦礫処理を被災地だけで行うことは困難である
- ③ 最大の障害は政府が放射性物質への対策を真剣に行っていない
- ④ 政府が自治体に処理させようとする放射線量の基準はあまりにも高く無責任である
- ⑤ 「広域処理」にあたっては、政府が基準や対策を抜本的に見直して住民の納得を得ると共に受け入れる自治体に対しては財政面を含む全面的支援を行う必要がある

原発ゼロ！震災復興！

3. 11 和歌山県民大集会



姫田議員と

ご参加の皆さん、お疲れ様でした。

全体集会の後、お城から関電までアピール行進の列に加わり、手拍子しながら「原発いらん！」「増税するな！」「子どもを守ろう！」とシュプレヒコールをあげて歩きました。



またまた、テレビの話で恐縮ですが…。毎日楽しみにしていたNHK朝の連続テレビ小説『カーネーション』が終わり4月からは『梅ちゃん先生』が始まっています。

2つ前の『おひさま』もそうでしたが、3つともアジア・太平洋戦争の市井の人々の生活を織り交ぜており、考えさせられることがたくさんあります。戦争の悲惨さがドラマの主たるテーマではありませんが、その渦中にどんな出来事があったのかを垣間見せることでよりリアルに当時の様子や人々の思いが分かります。

私自身の祖父母や両親からもよく聞いたのですが、激動の時代があったことを語り継いでいくことが、ますます必要になってくるのではないのでしょうか。そういう点でも朝の連ドラで描かれることそのものに意味があるし、たくさん視聴者の目に触れることを望みます。

子どもたちとともに楽しめる、時には涙しながら見ることもできるドラマをどんどん作ってほしいと思います。

